

※ 今週のアウトルック (3/30~4/3)

先週は材料不足の中、動きづらい展開となった通貨ペアが多かったようです。経済指標の結果が比較的良いものには、ある程度円安が進むものの、結果的には、もとのレンジの中に戻されてしまうものも多かったように思います。

今週は、米国雇用統計などの発表を週末に控えるものの、6月の米国利上げについて不透明な部分が多く、雇用統計の結果が余程良いものでなければドル高円安が進みづらいかもしれません。反対に悪いものとなった場合には、大きくドル売りが進む可能性も否定できないように思います。

先週ドル円は小動きな中、幾分ドル安円高が進んでいます。テクニカル的には、ダウントレンドに入った可能性が高いかもしれません。市場心理としては、「6月の利上げはない」と考えるほうがやや優勢なように思います。

今週は、米国雇用統計の発表を週末に控えるものの、余程良い結果でない限り、ドル高円安に転換する可能性は少ないように思います。反対に悪い結果であった場合には、ドル安円高がある程度進む可能性があるように思います。

ドル円の予想レンジは117円から121円です。

先週ユーロドルは、ドル買いが一服した状況で、なんとか1.09付近を保っています。ただ、1.1付近が強いレジスタンスになっているようで、ここを抜けない限りは、再び1.04割れを目指す展開になる可能性が高いように思います。

今週は、米国雇用統計の結果にも左右されそうですが、全般的には1.06から1.1の間の、レンジで推移する可能性が高いように思います。ユーロ円も、128円から131円付近の動きとなる可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは128円から132円です。

ポンド円は、一気にポンド安が進んでしまう瀬戸際の状況にあるように思います。今週、もし176円を大きく割ってしまうようなことになれば、一気に170円付近まで円高が進む可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは170円から180円です。

今週は、週末に米国雇用統計を控え動きづらい中、ドル売り要因には反応しやすい週となるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。